医療法人財団友朋会
Yuhokai Medical Foundation

風だより 94

医療法人財団　友朋会　嬉野温泉病院

友朋会理念

『患者さんのために』

contents

1　目次
2～3　2019年 年頭のご挨拶
4～5　アートセラピー美術館祭 開催
6～7　ものわすれメンタルクリニック作品展示会 開催
7　佐賀県精神保健福祉大会 表彰
8　理念・診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

二〇一九年 年頭のご挨拶

理事長　中川 龍治

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は友朋会にとって、変革の年でありました。認知症グループホーム寿A・B2ユニット18床の休止や訪問介護事業の中止など、職員不足のため、事業縮小をせざるを得ませんでした。利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。利用者の方はいらっしゃるのに、このような状況は残念でなりませんが、少子高齢化、景気の動向、時運の有り様、将来性等を鑑みた時に勇気ある決断でもあったと判断しております。さらには、当院は採用した高校卒業生の職員さんが働きながら准看護学校、看護学校に通い、資格取得をしています。それによって看護と介護の職員を育成しておりました。しかし、ここ数年、高校卒業生の入社が激減しておりますことが職員不足の一因であります状況から、看護職育成と雇用の考え方において、根本からの見直しを迫られているところです。このような経緯より、本年は合理的にダウンサイジングを施行できる「地域移行機能強化病棟」に取り組み、759床のベッドを少しずつ減らしていく方法をとる決断もいたしております。定床数を削減することで、必要な看護人員数を減らす対応を実施せざるを得ません。利用者の方、患者さんがいらっしゃるのに、このような形で対処しないといけないことは無念でなりませんが、理念である「患者さんのために」友朋会の医療と福祉と介護の質を維持するためには、ある意味で必然でもあると認識しております。

新しい年に当たり、理念を貫き継続する大切さを胸に、下記の目標達成に最善を尽くしたいと思っております。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2019年 友朋会の目標

目標①　人材確保と人材育成のあり方を根本的に見直す
目標②　2019年度に「地域移行機能強化病棟」を実施し、2020年度から毎年12床のベッド削減を実現する
目標③　職員の処遇改善に努める
目標④　働き方改革への制度対応を粛々と実施するとともに、医師を含めた病院の働く環境のあり方も検討する
目標⑤　コミュニケーションの深化と一人ひとりの積極的な意思表明により組織を強くする
目標⑥　「その時、その場で感じる、学ぶ　指導する」に強い意識をもち、人が育つ環境を醸成する
目標⑦　被災地支援を継続するとともに、佐賀県における災害時の精神科の拠点病院として機能できるようにその役割を検討し、準備する

また、この1年、我々友朋会職員一同は、誠意をもって真摯に、
研ぎ澄まされた一人一人がひとつとなり、どんな小さなことでもひとつずつ
根気強く積み重ね、前を向いて、しっかりと精進していきます。

謹賀新年

副院長　冨松 眞之
あけましておめでとうございます。昨年は地域の皆さま、各医療機関の方々、大変お世話になりました。精神科としては、時代のニーズにあった医療を展開しながら、勇気を持って新たな分野にも挑戦し続けていきたいと思います。

副院長　竹下 吉明
今年はまさしく新しい時代の始まりです。10月には消費税増税が予定されており、明るい話題ばかりではないですが、心機一転 皆様のお役に立てるように邁進してまいります。

副院長　榎 真佐史
あけましておめでとうございます。本年は、今のこの人生を、もう一度そっくりそのまま繰り返してもかまわないという仕事をしてみたいと思います。

朋寿苑 施設長　林原 歳久
今年も当苑は昨年4月の介護報酬改定に沿った運営で在宅支援、在宅復帰の地域拠点となる施設を目指しつつ、友朋会内の施設としての役割も果たし、且つ利用者の方に安心して選んでもらえる医療と介護を提供するたゆまぬ努力を継続したいと思います。

ものわすれメンタルクリニック院長　芹川 佳代子
新年あけましておめでとうございます。
今年2月でクリニック移転から2年を迎えます。
2年の歩みを振り返り、ステップアップの1年にしたいと思います。

看護部長　吉竹 昌一
新年明けましておめでとうございます。
今年度は、人材確保に向けたいろいろな取り組みを考え、協働できる職場環境の整備と看護部組織の改善を見直し、看護・介護職が一丸となり、皆様に安心安全な医療を提供できるように精進していきます。

法人事務局長　末永 憲博
時代は平成から次の元号へ変わる大きな節目です。これからの時代をどのように生き抜いていくか、しっかりと考え実践しなければなりません。日々の積み重ねが明日の友朋会を作り、一人一人の力が大きな原動力となることを念じて今年も努力してまいりましょう。

第21回 アートセラピー美術館祭を開催しました!

平成30年11月10日(土)に第21回となるアートセラピー美術館祭を開催しました。前年度に引き続き地元の学生さんや地域住民の方々を対象として、友朋会で取り組むアートセラピー(芸術療法)を体験して頂けるよう、6種目のワークショップを準備しました。嬉野市報や地元のテレビ九州の番組「えりあnavi」・フェイスブック「うれしの元気通信」での開催告知など、広報活動に取り組んだところ、地元の嬉野高校の生徒さんや佐賀・長崎両県の大学生、近隣の看護学生、地域の方々など、総勢83名の方に参加して頂くことができました。

今回は参加頂いた方の約半数が学生さんで、参加申し込みの時点から「学びたい」という意識が高い学生さんも多く見受けられました。ワークショップでのアートセラピー体験では、オリジナル作品の制作や他に参加された方との会話などを楽しんでおられる様子も見られており、友朋会で取り組むアートセラピーの魅力を十分にお伝えすることができたのではないかと考えます。

★ここでは、各ワークショップの内容と参加頂いた皆様の感想を簡単にご紹介します★

○陶芸療法

陶土や紙粘土での器制作の体験をして頂きました。「初めて参加したが、とても楽しかった」、「陶芸の感触がおもしろかった」などの感想を頂きました。制作された作品は、焼き上げて参加された方へお渡しする予定です。

○絵画療法

マンダラぬりえという万華鏡のような模様のぬりえ作品の制作を体験頂き、参加者同士で感想を共有しました。「あっという間に時間が過ぎていて、機会があればまた行いたい」などの感想を頂きました。

○音楽療法

声を出し、身体を動かしながら身体の状態を知る体験や、お気に入りの楽器を選んで即興演奏をする体験をして頂きました。「皆の心が一つになったような気がして楽しかった」、「音譜が読めなくても参加できたので良かった」などの感想を頂きました。

○連句療法

2グループに分かれて連句創作を体験して頂きました。「難しいと思っていたけど、楽な気持ちで楽しくできた」、「初めて参加したけど、多くの方々と意見交換できた」などの感想を頂き、想像して作品を作る楽しみや他者と一緒に作り上げる楽しみなどを味わって頂きました。

○クラフト療法

レジンとデコパージュの2種類のクラフトを準備し、どちらか一方を選んで制作して頂きました。「オリジナルのバッグを作れて楽しかった」、「交流しながらすることができて、とても楽しかった」など、創作活動やコミュニケーションを楽しんだとの感想を頂きました。

○コラージュ療法

「マグネットしおり」と「手帳カバーコラージュ」を体験して頂きました。「自分のために作品を作ることができ、大事に使用したい」などの感想を頂くことができました。自分のお気に入りを詰め込んだオリジナル手帳は日常生活で活用できるように、お持ち帰り頂きました。

また、ワークショップ終了後は参加頂いた方を対象に懇親会を開催しました。お食事やバイオリン・ピアノ・パーカッションによる演奏をお楽しみ頂きながら、ワークショップでのアートセラピー体験などについて意見交換する機会となり、「食事が大変美味しく、目でも舌でも楽しめた」、「コンサートが特に感動して、胸一杯になった」、「他の療法に参加した方の話を聞くことができた」などの嬉しい感想を多数頂くことができました。

今回のアートセラピー美術館祭は、例年の3月から11月へと時期を変更しての開催となりましたが、前回に引き続き定員を大きく上回るお申し込みを頂き、多くの学生さんや地域住民の方々に参加頂くことができました。参加して頂いた皆様並びにイベント開催に当たってご支援・ご協力頂いた全ての皆様に、心より感謝申し上げます。参加頂いた方より「今後もこのような企画を続けてほしい」、「次は他のワークショップにも参加してみたい」など、次回の開催を期待するご意見も多数頂いており、今後もイベント開催などを通じて、地元の学生さんや地域住民の方々にアートセラピーをはじめとした友朋会の取り組みについて、もっと知って頂けるように努めて参ります。

アートセラピー美術館祭実行委員会 運営委員長／正司 史臣

ものわすれメンタルクリニック
作品展示会

平成30年11月25日（日）に毎年実施しておりますデイサービス「奏」の作品展示会を開催しました。利用者とご家族や友人の方など総勢61名がお見えになり、大変賑わいました。

製作者である利用者の方の顔写真と一緒に陶芸や絵画作品が並べられた中をゆっくりと鑑賞していただきました。陶芸作品を手に取ってみたり、絵画を一枚一枚見ながら楽しそうに会話が弾んでいました。また作成活動中の様子をご家族の方に伝える機会にもなりました。

ご家族の方には陶芸療法の体験に参加していただき、手ひねりによる器や人形を作成されました。「利用者の方から話を聞いて興味を持っていたが実際に作るのは初めて」という事でしたが、何を作るのか思案し陶土に触れろくろを回しながら少しずつ形を作り上げていかれました。完成した作品は本焼き焼成しご家族の元に届けることにしています。

利用者の方がデイサービスに通所し始めてからクリニックに行くのを楽しみにしている等といったご家族からの声が聞かれ、スタッフ一同嬉しい限りです。今後も楽しんで活動に参加いただけるよう取り組んでいきたいと思います。

芸術療法科／森 啓訓

表彰

第55回 佐賀県精神保健福祉大会において精神科外来の小笠原八千代さんが平成30年度佐賀県精神保健福祉事業功労者の精神保健福祉協会長表彰を授章されました。

今後も体に気を付けて後進の育成をお願い致します。

友朋会理念　『患者さんのために』

基本方針

1 患者さん一人ひとりの立場になって、提供すべき医療を考え、実践する
2 在宅での生活を目指した医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
3 創設時から継続されている退院支援・生活支援・就労支援の更なる充実のために地域包括ケアシステム・地域医療構想の視点を加える
4 芸術療法的な治療空間・アメニティーを重視し、芸術療法を治療技法として高める
5 医療安全対策・感染予防対策・精神科医療事故防止・防災対策・防火対策など総合安全対策体制を確立する
6 地域医療機関との連携や役割分担による医療を実践する
7 地域において認知症疾患医療センターを軸にリーダーシップを発揮する
8 児童思春期精神医療を実践し、地域の子どもたちの健やかな成長に寄与する
9 安全で質の高いチーム医療を実践し、地域の医療・福祉の向上に貢献する
10 医療従事者として自己研鑽に精励する

職業倫理に基づく行動指針

1 患者さんの自己決定権を尊重する
2 患者さんが自己の情報を知る権利を保障する
3 患者さんがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
4 患者さんに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
5 患者さんに医療的な説明を十分に行う
6 患者さんに治療に関する同意を確実に得る
7 患者さんの「基本的人権」を保障する
8 患者さんの尊厳を保つ
9 患者さんの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
10 患者さんの個人情報を守る

診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

＊診療時間
◎月曜～金曜
◎午前の部／8:30～12:30
（第１土曜　8:30～12:30）
◎午後の部／13:30～17:00
※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

＊休 診 日
◎第2・3・4・5土曜、日曜、祭日
年末2日、年始3日間

＊予約診療
◎待ち時間短縮のため、
予約診療とさせていただきます。

＊眼科の診療時間
◎月曜日 午後のみ13:00～17:00
◎水・金曜日 午前10:00～12:30
午後13:30～17:00

診療科		月	火	水	木	金	土	備考
精神科	新患	吉本静志 前田直子 PM 中山	渡邉　至 松尾勝久 吉本静志 PM 中山	渡邉　至 光吉幸次 菅髙一博 田中邦宏 PM 冨松	田中邦宏 松尾勝久 奥　栄作 三根禎行	奥　栄作 冨松眞之 松尾勝久 PM 三根		
	再来	冨松眞之 松尾勝久	奥　栄作 田中邦宏 前田直子	吉本静志 中山　享	中山　享	三根禎行 菅髙一博 渡邉　至	予約者のみ	
	専門外来	精神科一般、ものわすれ、児童思春期、うつ病メンタルヘルスなどご希望がありましたら、ご相談ください。						
内　科		上野　隆	竹下吉明	岡本純明	林原歳久	榎真佐史	非常勤医師	
泌尿器科		倉冨一成	江原　孝	倉冨一成	江原　孝	倉冨一成	予約者のみ	午後は事前連絡
眼　科		﨑戸晶子 (13時～)		﨑戸晶子 (10時～)		﨑戸晶子 (10時～)		(月) 午後13:00～17:00 (水・金) 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00

H31.1

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 MB24 号

医療法人財団　友朋会
〒843-0301
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919
電話：0954-43-0157
FAX：0954-43-3440
E-mail：info@yuhokai.com
URL：http://www.yuhokai.com/

- 嬉野温泉病院　0954-43-0157
- 認知症疾患医療センター　0954-43-0003
- リカバリーセンター「ほほ笑み」　0954-43-0194
- 介護老人保健施設　朋寿苑　0954-42-2900
- 朋寿会　通所リハビリ　0954-43-0233
- 友朋会介護サービスセンター　0954-20-2531
- グループホーム　千寿荘　0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」　0954-43-0249
- 地域連携室　0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」　0954-43-7550
- ものわすれメンタルクリニック　092-534-5151
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目15-28

医療法人財団 友朋会